

《YouTube 視聴のご案内》

シェイクスピア・作

『冬物語』『ヴェニスの商人』

[ところざわ倶楽部] ドラマティック・カンパニー



2023 年 9 月 於・所沢市中央公民館ホール

* 指導・音楽／作曲家・演奏家・笠松泰洋氏：NINAGAWA シェイクスピアの舞台音楽・音楽監督を 10 作品以上／是枝監督の映画音楽／2018 年文化交流使／2023 年オペラ「人魚姫」他。

* 作曲等でお忙しく 2～3 時間の睡眠でも指導にいらして下さる笠松先生／その熱意に応えようとシルバーなりに素人なりに真面目に取り組んでいることが皆様に元気とパワーをお届けできるかと思っていますので、宜しかったら この朗読劇をお知り合いと共有して頂けると幸いです。児新・記



『冬物語』あれこれ



9/29 倶楽部まつり：ドラマティックカンパニーはシェイクスピア作『冬物語』を朗読した。だが台本と配役が決まったのは9/24！果たして間に合うか心配しつつ笠松泰洋先生の真剣集中ダメ出しに皆本気モード/良い舞台になる予感！帰りのバスに揺られてると“熱いうちに作りました”と重厚感に温もりをも感じる先生作曲『冬物語』を受信/そして予感は確信へ！ ※※ 照明が変わり曲が流れるともうそこはシェイクスピアの世界 ※※物語は嫉妬に狂ったシチリア王を中心に展開していくがもう一人の主役は臣下の妻ポーライナとも言える。暴言を浴びながらも毅然と王を諭していく。その迫力に舞台がギュッと引き締めたり / この夫婦のやりとり思わずクスッとしたり / “本当の暴君なら面と向かって暴君と言えるか”の台詞にハッとしたり / 奇想天外ロマンスファンタジー『冬物語』一彼の戯曲は観客を飽きさせない巧みさとユーモアに彩られ、時代を超え今も人々に愛され続けているー

ーヴェニスの商人・見どころー

シェイクスピアは没後 400 年が経とうというのに、未だに最も上演される劇作家であり続けています。これは稀有なことです。そしてこの「ヴェニスの商人」にも、その秘密があります。それは人間というものをありのままに観る観察眼とそれを現す力です。長らくこの作品は、悪徳のユダヤ人によって危機に陥ったヴェニスの大商人が利発な女性の機転で救われる話と捉えられてきましたが、今読むと全くそうは思えないのです。差別する側もされる側も、等しく描く、それがこの作品の魅力なのです。今回のドラマティックカンパニーの発表は、全体の一部分を取り出した上演ですが、シェイクスピアの面白さを感じて頂けるとと思っています。 笠松 泰洋



《冬物語》



《ヴェニスの商人》

アクセス YouTube→ところざわ倶楽部まつり・ドラマティック・カンパニー